



屋外スピーカーを設置して全町に一齐に広報する方法と、各家庭に防災ラジオを設置して緊急時に一齐に放送する方法の2通りあり、それぞれに良いところがあります。

しかし、雨が降ったり強風が吹いたりした際は、屋外スピーカーからはうまく聞き取れないということがあります。一方のラジオについては、設置している市町村の状況をお聞きすると、電源を抜いていたため緊急情報を受信できなかったという事例が何件もあったようです。また、本体の料金や町内全域に電波を届けるためのアンテナ設置に係る経費についても考えなければならぬため、現時点では屋外スピーカーの設置を選択して取り組んでおります。

今後はラジオについても検討させていただきますと考えていますが、財源確保等も含め時間をいただきたいと思えます。

### ■有害鳥獣について

Q. 近頃、鳥獣等の被害が激しく、特にイノシシによる作物の被害が多発している。町ではど

のような対策をしているのか。

A. 今年度も、役場にはクマやイノシシの目撃情報を多数いただいています。クマが家屋に浸入したり、イノシシがそこら中の畑を掘り荒らしていたりという話をいただいています。

イノシシの対策としては、20頭の捕獲申請を町から県へ提出し、許可を受けています。今後は猟友会の皆さんとともにイノシシが荒らしていた跡などを調査し、捕獲方法について検討していきたいと考えています。

### ■福祉サービスについて

Q. 現在の町の介護施設は足りているのか。また、その利用状況はどうなっているのか。

A. 町では現在、約900人の方が介護認定を受けられており、そのうち9割以上の方が何らかのサービスを受けられています。

サービスについては「施設サービス」と「在宅サービス」があり、在宅サービスについてはケアマネジャーがサービス利

用のプランを立てる段階で、希望のサービスが利用できない状況にはなっています。

また、施設サービスについては約200名の方が利用しておりますが、申請中の方も約100名おります。ただし、必要な数だけ施設を増やしてしまえば財政的な負担も発生しますので、そのような中でサービスの適正な量なども考えながら対応していきたいと考えています。

### ■買物困難者増加に対する取り組みについて

Q. 5月から始まった買い物支援事業の状況を教えてください。

A. 買い物支援の実証実験として、「御用聞き事業」「買い物ポイントサービス事業」「移動販売支援事業」を実施しています。

蚕桑地区で実施している御用聞き事業については、8名の方に会員登録していただき、そのうち7名の方が利用。7月末まで計13万円ほどの買い物をさせていただきました。

買い物ポイントサービス事業

については、ポイントが満点になった方が8月末時点で十数名おり、そのうち2名の方が加盟店でご利用しました。

移動販売支援事業については、中山のつるや商店さんから申請いただいております。車の燃料代やメンテナンス費用の一部を補助させていただきます。

これから中間の検証もさせていただきますが、商業的な面や福祉的な面、地域づくりの視点なども含めて総合的な検証をし、今後の方向性について検討していきたいと考えています。

掲載した内容のほかにも、人口減少対策、観光PR、婚活、林道整備、耕作放棄地問題など、幅広い分野にわたって意見交換を行いました。いただいたご意見をまとめたものを企画政策課及び各地区コミュニティセンターに設置します。また、町のホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

【問い合わせ】企画政策課情報係 ☎ 85-6121